

学校教育目標 <やさしく かしこく たくましく>

櫻の子



9月号 (令和4年8月30日)

児童数 552名

川越市立大東東小学校



## 防災の日に寄せて



長かった夏休みも終わり、学校に子ども達の明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。

夏季休業中には、保護者・地域の皆様が、子ども達の生活を見守ってくださり、ありがとうございました。おかげ様で大きな事故もなく、無事2学期を迎えることができました。この2学期は、子ども達にとって学びを充実させ、一人一人の力を伸ばすことができる絶好の4ヶ月です。そこで、子どもたちが一日一日を有意義に過ごせるよう、教職員一同きめ細やかな指導に努めてまいります。

さて、9月1日は「防災の日」です。そして、この日を含む1週間(8月30日～9月5日)が「防災週間」と定められています。

本校でも、9月2日(金)に、避難訓練と引き渡し訓練を行います。今回は、地震を想定した避難訓練です。子ども達には、「お・か・し・も・ち」(「お」・・・おさない「か」・・・かけない「し」・・・しゃべらない「も」・・・もどらない「ち」・・・ちかやらない)という言葉で避難の心構えを指導し



ています。これは、落ちついて、安全に、そして周囲からの指示をよく聞いて避難するという意味です。

災害は、いつおこるかわかりません。授業中、教室で担任の指示が届く場にいるときだけでなく、休み時間、運動場で遊んでいるときかもしれません。停電で、校内放送が使えないかもしれません。常に最悪の場合も想定しておかねばなりません。そのため、学校では「自分の命を自分で守ることのできる子ども」を育てたいと願っています。避難訓練では、先生の指示がなくても自分の力で周囲の状況を確認し、どこへ避難したら安全か判断できるように話をしたいと思います。

また、学校は災害時の避難所にも指定されています。夏休みには、市役所の避難所開設班の方々や避難者受け入れについての具体的な流れや物資の確認を行いました。避難所を開設としない状況が一番ですが、やはり最悪を想定しておかなければなりません。川越市は、防災タイムラインを作成し、いざというときに市民を守れるように準備をしております。

防災の日や引き渡し訓練をきっかけとし、ご家庭でも様々な場面における防災について話をしてみてください。学校以外の場所で災害にあったときの行動の仕方や連絡の取り方など具体的に決めておくことも大切です。よろしくお願いいたします。

